

令和5年度第1回中津川市公共交通会議 議事要旨

日 時 令和5年6月23日（金）14:00～15:30
場 所 苗木交流センター ホール
出席者 委員22名（うち代理出席6名）、事務局4名、随行者1名

■開会

■会長あいさつ（渡邊副市長）

■報告

報告1 令和4年度事業報告

- ・報告1について説明（事務局）

【質疑・意見等】

○福本委員（学識経験者）

- ・計画の中にどのような事業が位置付けられていて、それに対し何をして、どのような結果だったかが分かるという。

報告2 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価等について

- ・報告2について説明（事務局）

【質疑・意見等】

○福本委員（学識経験者）

- ・中部運輸局が行った評価に対して、市がどのように応えるのかが分かるような資料を追加してほしい。
- ・新たなモビリティサービスの実証実験について、地域の公共交通網と一体的な議論をこの公共交通会議でしなければならない。どこかのタイミングで、具体的に何をしていて、どのように進めていくのか、既存の公共交通とどのように整合をとるのか報告してほしい。

○事務局

- ・評価に対する市の対応、考え方については、次年度の資料では追加させていただく。
- ・新たなモビリティサービスの実証実験については、折を見て情報提供できるものがあったら、委員の皆様に報告させていただく。

報告3 令和5年度事業計画

- ・報告3について説明（事務局）

【質疑・意見等】

○福本委員（学識経験者）

- ・坂下線について、「市単費で維持をする路線なのかどうなのか」市で明確にしたうえで、減便等の対応や、維持するかどうかを検討すべき。
- ・観光資源と連携した乗車券について、馬籠宿までだけではなく妻籠宿や南木曾町までのフリー乗車券を発行してほしい。加子母の明治座についても、一定数の外国人観光客に受けるコンテンツになると思うので、企画乗車券を検討してほしい。今ある路線を使いながら、

新たなPRをすることに力を入れてほしい。

○事務局

- ・坂下線について、北恵那交通(株)様と危機意識を共有し、相談を始めたところ。全体的な路線を考えながら、市として坂下線の位置づけを考えたい。
- ・観光資源と連携した乗車券について、現在の観光乗車券に続くようなものを検討していきたいと考えている。

○木村委員（交通事業者団体）

- ・バス業界では、人材不足が大きな問題となっている。運転手不足に対する事業をぜひ検討してもらいたい。

○事務局

- ・運転手の確保について、市が主催する説明会等で、交通事業者の皆様にお声がけさせていただくとともに、定住推進課が参加する都市部での移住フェアに来場したお客様に運転手等の職業も案内する。

○成瀬委員（公共交通事業者）

- ・坂下線について、利用者減少により国庫補助金の対象から外れる可能性があるが、補助をもらわずに赤字で運行している路線は他にもある。車両数、運転手数等総合的に見て今後について考えていきたい。
- ・観光乗車券については、紙での乗車券だけではなく、web乗車券も作成している。今後さらに利用が増えるように検討していきたい、妻籠宿との連携についても、利用者が分かりやすい、使いやすいものを検討していきたい。

■議題

議題1 自家用有償旅客運送（市町村福祉有償輸送）の更新について

- ・議題1について説明（事務局）

【質疑・意見等】

○黒田委員（行政機関）

- ・令和2年からの期間中に重大事故を起こしたことはあるか。
- ・利用回数が月に片道6回までとなっているが、それ以上利用される方への対応はどうしているのか。

○高齢支援課

- ・当該期間内の事故について、接触事故を起こしたことはあるが、利用者がいなかったため、幸いにも怪我等につながることはなかった。
- ・月6回の上限を超えてしまった場合は、民間の介護タクシー等を紹介させてもらう等、お客様のケアマネージャーと連携しながら対応している。

【採決】 承認

議題2 自家用有償旅客運送（公共交通空白地有償運送）の更新について

- ・議題2について説明（事務局）
- ・各特定非営利活動法人（NPO 阿木ふるさと福祉村、NPO かしもむら、NPO つけちスポーツクラブ）の補足説明

【質疑・意見等】 なし

【採決】 承認

議題3 令和6年度生活交通確保維持改善計画について

- ・議題3について説明（事務局）

【質疑・意見等】

○福本委員（学識経験者）

- ・どの系統が危機的状況にあるのか、事務局で整理してもらい、補助がなくなっても維持をするのか、補助をもらうために利用してもらうように働きかけるのか、系統ごとに考えてもらいたい。
- ・路線バスの状況を改善し、路線を維持するためにも、観光と連携した乗車券の発行や、コミュニティバスの見直し、サロンとの連携等を行い、利用者を増やさないといけない。

【採決】 承認

■議事終了

■その他

○粥川委員代理（老人クラブ連合会）

- ・付知地区のコミュニティバスの時刻表について、高齢者に時刻表を読み取る力があるかなにか考えてほしい。現在のものでは難しいと思う。
- ・コミュニティバスの再編については、車を運転する人だけで決めるのではなく、運転できない方も交えて協議し決めなければならない。

○事務局

- ・時刻表については、より分かりやすいように各運行事業者と協議しながら決めているところ。分かりにくいようであれば、改善していく。
- ・各地域でコミュニティバスを見直しする際には、区長やまちづくり協議会の役員の方だけではなく、老人クラブや民生委員の方などを交えながら協議を進めていきたい。

■閉会